

3教科A方式 日本史

(I)

【解答】

問1 ア 推古 イ 鑑真 ウ 応仁 エ 一遍 オ 富岡

問2 (a) ② (b) ① (c) ④ (d) ④ (e) ① (f) ② (g) ③ (h) ④ (i) ② (j) ④

問3 (1) 鞍作鳥(止利仏師) (2) 木簡 (3) 天智天皇 (4) 神宮寺 (5) アメリカ

【講評】

日本国内の世界文化遺産に関する文章を読み、世界遺産と日本史で学ぶ事柄とを結びつけて、政治・社会・文化などについての設問に答える問題です。時代は古代が中心ですが、一部近代史の問題も含んでいます。問1の空欄補充と問3の記述式問題は、いずれもごく基本的な問題で大変よく出来ていました。マーク式の問2も(a)・(d)・(f)・(g)・(j)などは正答率が80%を超えていましたが、一方でとくに(h)は他の設問に比べて、かなり正答率が低い結果となりました。院政期の上皇が白河や鳥羽に離宮を造営したということ自体は、教科書にはっきりと書いてあるわけではないのですが、白河上皇や鳥羽上皇がなぜそう呼ばれたのかという点から類推して考えてほしかったというのが、問題を作成した側の意図です。

(II)

【解答】

問1 (A) 検非違使 (B) 御家人 (C) 番役 (D) 守護 (E) 月行事 (F) 五大老

問2 (a) ① (b) ② (c) ① (d) ② (e) ① (f) ④ (g) ③ (h) ④ (i) ② (j) ①

問3 16世紀半ばに種子島へと伝来したとされる鉄砲は、やがて南蛮貿易の盛行とともに日本各地へと普及

し、合戦のあり方に大きな変化をもたらした。特に織田信長が武田勝頼を破った長篠合戦においては、鉄砲が勝利の行方に決定的な影響を与えたといわれている。

【講評】

問1については(E)の正答率が低かったです。特に「会合衆」との誤答が目立ちました。

問3は鉄砲伝来について「種子島」「長篠合戦」「南蛮貿易」の関係性を問う記述問題でしたが、「長篠合戦の結果、鉄砲が多く輸入されるようになった」との答案が多かったです。正確には「鉄砲が多く輸入されるようになっていたから、長篠合戦のような戦術が可能になった」という因果関係になります。

(III)

【解答】

問1 ア 唐人屋敷 イ 海舶互市新例(長崎新令、正徳新令) ウ 隠元 エ 池大雅

オ 島原(島原・天草) カ 平戸 キ 風説書

ク 徳川吉宗 ケ 尚巴志 コ シャクシャイン

問2 (a) ③ (b) ③ (c) ② (d) ① (e) ④ (f) ③ (g) ③ (h) ② (i) ③ (j) ②

問3 (1) 大塩平八郎 (2) 小林一茶 (3) 山田長政 (4) 青木昆陽 (5) 高田屋嘉兵衛

【講評】

江戸時代の対外関係と文化に関する問題です。江戸時代は「鎖国」という言葉のイメージが強いのですが、この時代の社会・文化が中国・ヨーロッパ・朝鮮・蝦夷地・琉球などと密接に結びついていたことについて、さまざまな角度から出題しています。問1の空欄補充と問3の記述式問題の中では、問1イを「海舶互市新令」、エを「池野大雅」とする誤字がやや目立ちましたが、全体としては大変よく出来ていたと思います。マーク式の問2では、(b)と(g)の正答率が50%に達しませんでした。たしかにこれらはやや難しいのですが、(b)については幕府が直接支配していた都市はどこなのかということが手がかりになりますし、(g)については医者と著作の組み合わせだけでなく、問題文にある「蘭学を学んだ医者」のところをしっかりと読んだかどうかポイントになります。

(IV)

【解答】

問1 A 愛国公党 B 自由党 C 立憲改進黨 D 自由党 E 憲政党 F 立憲政友会
G 立憲同志会

問2 ア 征韓論(明治6年) イ 民撰(民選)議院設立 ウ 大隈重信 エ 板垣退助 オ 国会(帝国議会)
カ 二(2) キ 枢密院 ク 西園寺公望 ケ 桂園

問3 i ②、③(順不同) ii ①、⑤(順不同) iii ③ iv ①、③(順不同) v ①、③(順不同)

【講評】

日本近代における政党に関する問題です。問1の党名を問う問題は比較的正答率が高かったですが、Gの「立憲同志会」は正答率が低かったです。またBとDはそれぞれ「自由党」ですが、Dの正答率が低かったです。自由党を名のる政党は、明治から現代にかけて、何度か現われています。問2のイの「民撰議院設立建白書」は「民選議院設立建白書」も正答として扱いました。